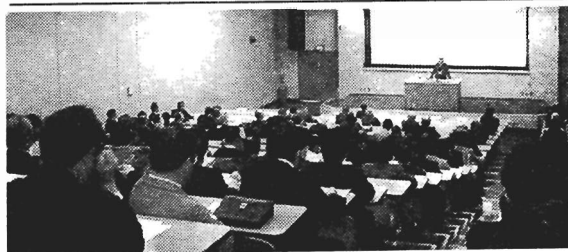


土木同窓会支部 NPO法人設立の母体に

NPO法人シビルサポートネットワークの設立記念シンポジウムが、3月19日(土)に後楽園キャンパスにて300人近い参加の下で盛大に開催された。土木同窓会支部では1万人の同窓生を擁する中で、シニアエンジニアの技術と経験を社会貢献活動に生かしていくことを目的に、昨年11月にNPO法人シビルサポートネットワークを立ち上げた。

シンポジウムは、いま最も社会的に関心の高い地震防災をとりあげ、「大規模地震から学ぶこと」をテーマに行った。今年は阪神・淡路大震災10周年、また昨年は新潟県中越地震、スマ

地震災害シンポジウム開催



トラ島沖地震と次々に予想し得ない甚大な被害を体験する中で、我々は何を学ん

できたのか、それらを今後地震防災にどのように生かしていくべきなのかを主題とした。

講師には、独立行政法人・防災科学技術研究所の片山恒雄理事長(東京大名誉教授)と東京大学生産技術研究所の目黒公郎教授を迎え、安全で安心な共生社会とはどのような社会なのかについて、講演に加えて参加者との意見交換も活発に行われた。

講演に先立ち、共催者を代表して理工学研究所の関口勲所長から、同研究所の紹介と大学の知を社会に還元するためにも大学とNPOとの連携が必要であると

の話があった。また、シンポジウムの最後に共催者の土木同窓会の舌間久芳会長から謝辞と共に、本NPO法人の活動に大いに期待しているとの話があった。

シンポジウム終了後の懇親会では、岡内功名誉教授と伊藤学東京大名誉教授から本日のシンポジウムの講評を頂き、参加者一同和やかなひと時を過ごし、山田正理工学部教授の締めめの挨拶でお開きとなった。

NPO法人「シビルサポートネットワーク」(CSネット)は、シニアエンジニアの豊富な経験を生かし、都市・生活施設の維持

更新、防災関連分野を主体に、市民や地域の視点に立つて大学などの研究機関や企業間の技術と情報の交流支援、市民と行政の協働事業を通じて地域活性化を図ることを目的として活動し、①市民・行政と連携した地域貢献活動、②大学などの研究機関の研究成果を社会に提供する支援活動、③建設産業に関わるコンサルティング事業と人材支援事業を行う。支援スタッフは登録制で、土木同窓会支部で進めている「技術者登録」制度の活用先として期待されたい。 <http://www.angelus.tv/csr/>